

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日		
所属	職名	氏名	
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	青柳 憲昌	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
『ふるまいの連鎖:エレメントの軌跡(第17回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展日本館カタログ)』	共著	2020年8月	TOTO 出版	門脇耕三, 青柳憲昌他	17-35

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
「滋賀県草津市・大萱神社本殿の建築的特徴」	共著	2020年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	吉川奎, 青柳憲昌	13-14
「近代の法隆寺金堂壁画保存事業における合成樹脂を用いた壁画硬化処理の経緯と主旨」	共著	2020年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	林畝乃香, 青柳憲昌	825-826
「世田谷区高見澤邸の都市的状況と平面の変遷 戦後木造庶民住宅の増改築履歴調査 その1」	共著	2020年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	門脇耕三, 青柳憲昌, 樋渡彩, 松本直之, 伊藤公人	1257-1258
「世田谷区高見澤邸の構法と部品の変化 戦後木造庶民住宅の増改築履歴調査 その2」	共著	2020年9月	『日本建築学会大会学術講演梗概集』	伊藤公人, 青柳憲昌, 松本直之, 門脇耕三	1259-1260

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
「復元(復原)の同時代性——関野克と大岡實の復元建築を通して——」		2020年2月	『文化遺産と〈復元学〉』刊行記念シンポジウム「復元学の意義と課題」	青柳憲昌
「法隆寺金堂壁画保存活用委員会アーカイブWG 2019年度事業報告」(書面開催)	共同	2020年8月	第5回法隆寺金堂壁画保存活用委員会ワーキング・グループ全体会合/第6回法隆寺金堂壁画保存活用委員会	青柳憲昌, 中村一郎

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第7回現代《床の間》思考 1950年代の《床の間》解釈に学べ」	単独	『ディテール』	2020年12月

<p>「ディテールにみる戦後建築の伝統表現 第6回 吉阪隆正+U研究室〈ヴェネチア・ビエンナーレ 日本館〉工業化の先にある「日本」の肌触り」青 柳憲昌『ディテール』（224号）2020年3月号、彰 国社、pp.93-100</p>	<p>単独</p>	<p>『ディテール』</p>	<p>2020年3月</p>
---	-----------	----------------	----------------

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	阿部 俊彦

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
Japanese Machizukuri and Community Engagement: History, Method and Practice	共著	2020年1月	Routledge	Shigeru Satoh, Toshihiko Abe, Shin Aiba, Liang-Chun Chen, Katsuhiro Kubo, Chia-Chan Liao, Yosuke Mano, Kosuke Masuo, Kenjiro Matsuura, Akihiro Noda, Shinji Nojima, Hiroshi Saito, Hideaki Shimura, Keisuke Sugano, Jie-Ying Wu, Alba Victoria Zamarb, ide Urdaniz, Chengqi Zhao	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
建築系まちづくりファシリテーター養成講座の実践に関する試み	共著	2020年7月	建築教育研究論文報告集	松村哲志, 連健夫, 野澤康, 市古太郎, 渡邊研司, 阿部俊彦	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
気仙沼内湾ウォーターフロント	共著	2020年9月	2020年度日本建築学会大会(関東)	阿部俊彦, 津久井誠人, 長谷川浩己, 角館政英, 村山寛

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
日本都市計画学会	計画設計賞	気仙沼内湾ウォーターフロントの地域主体による復興デザイン - 港町の景観・文化の継承と安全性の確保を両立した都市デザインの実現 -	2020年
日本都市計画学会	論文奨励賞	小規模多主体事業連鎖と都市基盤整備による複線型復興まちづくりの実践的研究	2020年
日本建築学会	作品選集 入選	内湾ムカエル	2020年

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	助教	宇佐美 智之

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
北部九州弥生時代前半期における集落分布・立地の変化：集落の動態にみる列島初期農耕社会の形成過程	単著	2020年3月	立命館文学(666)		148-162
中央アジア・ザラフシャン川流域における土地利用変化と考古遺跡：Landsat 衛星データを用いた分析から	単著	2020年7月	立命館大学歴史都市防災研究所歴史都市防災論文集14		139-146
New Discoveries from Kafir-kala: Coins, Sealings, and Wooden Carvings	共著	2020年8月	ACTA ASIATICA, 119		1-20

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
北部九州弥生時代の集落立地変化と高地性集落の評価：GISを用いた空間分析から	単著	2020年3月	日本情報考古学会第43回大会	宇佐美智之
眺望分析を利用した高地性集落の研究：集落の立地と眺望にみる弥生社会	単著	2020年9月	「弥生時代高地性集落の列島の再検証」第1回研究会	宇佐美智之
衛星画像を用いた中央アジア・オアシス地域における土地開発・利用の変遷と遺跡立地環境の検討：ウズベキスタン・サマルカンドを例として	単著	2020年10月	第29回地理情報システム学会研究発表大会	宇佐美智之

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	大窪 健之

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
A Study on Distribution Planning for Citizens' Hydrants with the User Experimental Drill of Extra Connectable Hoses in Kiyomizu WCH Zone, Kyoto JAPAN	共著	2020年6月	Le Vie dei Mercanti XVIII International Forum	Takeyuki OKUBO, Dowon KIM, Tomohiko OWADA, Michiko HAYASHI	257-266
歴史的街区に備わる減災手法の防火性能評価～伝統的緑地による延焼抑止効果に着目して～	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集 vol.14	大窪健之, 砂田陸, 金度源	179-186
災害情報を即時共有する地域防災情報ネットワークシステムの導入効果に関する検証：京都市先斗町での避難シミュレーションを通して	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集 vol.14	山根雅也, 大窪健之, 金度源	187-194
重要伝統的建造物群保存地区における公有建物と私有敷地の防災拠点化に関する調査研究：地域防災資源のデータベース構築と事例調査を通して	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集 vol.14	金度源, 中林秀光, 大窪健之	195-202

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Community-based DRM workshop with a digital network for post-COVID times	単独	2020年6月	The webinar series of "Capacity Building for Disaster Risk Management of Cultural Heritage: Challenges and Opportunities in Post-COVID Times", Institute of Disaster Mitigation for Urban Cultural Heritage	Takeyuki Okubo (パネル講演)
SD法を用いた「先斗町らしさ」の抽出に関する研究－路地空間の外観に対する因子分析を通して	共著	2020年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会, pp. 253-256	岡本和将, 金度源, 大窪健之
震災時の在宅避難者への地域支援に関する研究～京都市上京区を対象とした防災拠点としての社寺の活用について～	共著	2020年6月	日本建築学会近畿支部研究発表会, pp. 361-364	林原未弥, 大窪健之, 金度源
観光客等の緊急避難場所としての社寺の能力評価に関する研究～京都市清水・祇園地域を対象として	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集(報告), vol.14, pp. 265-270	谷口有里香, 大窪健之, 金度源
災害記憶継承に向けた出版活動～2015年ネパール地震を事例として	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集(報告), vol.14, pp. 265-270	サキャラタ, 大窪健之, 金度源

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
大窪健之、金度源、サキヤ ラタ：特集記事「立命館大学歴史都市防災研究所ウェビナーシリーズ「文化遺産防災における人材育成：ポストコロナの挑戦と創生」開催報告	共同	ICOMOS Japan information 誌, 11期-6号, pp.15	2020年9月9日発行
大窪健之、岡本和将、金度源：特集記事「路地景観における「先斗町らしさ」とは何か-SD法による外観に対するイメージ抽出を通して-」	共同	京都だより, No.531, 京都府建築士会	2020年10月1日発行
金度源、中林秀光、大窪健之：歴史的町並みの地区防災データベースの構築、考古アカデミックレポート	共同	月刊考古学ジャーナル 11 (No.747)、pp.26-29	2020年11月
大窪健之：文化遺産防災から歴史都市防災へ	単独	建築研究協会誌、No.34、pp.3-13	2020年10月
大窪健之、山根雅也、金度源：特集記事「災害発生場所を地図で共有できるメール配信システムの有効性評価-京都市先斗町での避難シミュレーションを通して」	共同	京都だより, No.533, 京都府建築士会, pp.6-9	2020年12月1日発行

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
地域防災情報システム	本学共同者	その他				日本
消火用ノズル	本学共同者	筆頭発明者				日本
地域防災情報システム	本学共同者	その他	2016-185148	2016-033	2016-033	日本

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	岡井 有佳

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
防災街区整備事業を活用した密集市街地整備に関する研究	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集 Vol.14	山際大貴, 岡井有佳	163-170
建築基準法第43条第2項第二号許可制度の運用実態に関する研究：京都市を事例として	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集 Vol.14	岡野遼太郎, 岡井有佳	171-178
大学施設と一体的に整備された防災公園の効果に関する研究—茨木市岩倉公園を事例として—	共著	2020年6月	2020年度大会学術講演梗概集 F-1	三吉寛之, 岡井有佳	743-744

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	小川 圭一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
文化遺産防災を対象としたCVMにおける「特定可能な犠牲者効果」に関する分析	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集 Vol.14	小川圭一, 志賀健生	215-222

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
文化遺産防災を対象としたCVMにおける「特定可能な犠牲者効果」に関する分析	共著	2020年12月	第14回歴史都市防災シンポジウム	小川圭一, 志賀健生

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部政策科学科	教授	鐘ヶ江 秀彦

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
Understanding of citizens' loyalty in city regeneration: Post-mining communities in Sawahlunto, West Sumatera	共著	2020年6月	Journal of the Asia-Japan Research Institute, Asia-Japan Research Institute, Ritsumeikan University	Roni ARMIS, Hidehiko KANEGAE	

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
What could Universities Contribute to SDGs with Society 5.0 in the Future?" in the session II: "Experiences of Energy Project/Project Contributing to SDG (Goal 7 and others)	単独	2020年2月	In commemoration of the 30th Anniversary of the JSPS Bangkok Office JSPS (Japan Society for the Promotion of Science) - NRCT (National Research Council of Thailand) - JAAT (JSPS Alumni Association of Thailand) Seminar: "Sustainable Development Goals (SDGs) in Thailand and Japan", 18-19 February 2020, Arnoma 1, 3rd floor, Arnoma Grand Hotel, Bangkok, Thailand	Hidehiko Kanegae

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	准教授	川崎 佑磨

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
Acoustic Emission and Related Non-Destructive Evaluation Techniques in the Fracture Mechanics of Concrete 2nd Edition	分担執筆	2020年10月	Woodhead Publishing	Yuma Kawasaki, Tomoko Fukuyama, Takahisa Okamoto	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
NUMERICAL SIMULATION FOR DETECTING INTERNAL VOID OF SEISMIC RUBBER BEARING	共著	2020年	Journal of Japan Association for Earthquake Engineering 20 (5)	Yuuki NOSE, Kazuyuki IZUNO, Yuma KAWASAKI	24-35
鋼板間のゴム内部で発生した剥離音のAE法による検出精度に関する確認実験	共著	2020年5月	土木学会論文集A1(構造・地震工学) 76 (2)	川崎佑磨, 田中陽裕, 山田悠二, 植田健介, 伊津野和行	229-238
Failure-mode analysis of macro-synthetic and hybrid fibre-reinforced concrete beams with GFRP bars using acoustic emission technique	共著	2020年7月	Journal of Construction and Building Materials 249 (20)	A m a l D e v . M . Chellapandian, S. Suriya Prakash, Yuma Kawasaki	1-12
空気圧入法によるポーラスコンクリート表層部の目詰まり評価	共著	2020年7月	コンクリート工学年次論文集 42 (1)	白川裕太, 川崎佑磨, 中島康成, 山田茂	1318-1323
揮発速度を変えたアロマ水を混入したモルタルの香り持続性と印象評価に関する研究	共著	2020年7月	コンクリート工学年次論文集 42 (1)	宇野彩葉, 川崎佑磨, 新大軌, 兵頭正浩	1264-1269
振動締め時間がコンクリートの力学的特性および細孔構造に与える影響	共著	2020年7月	コンクリート工学年次論文集 42 (1)	坂野大世, 山田悠二, 川崎佑磨	1198-1203
AE法と電気化学ノイズ法を併用したRC中の鉄筋腐食の早期評価に関する研究	共著	2020年7月	コンクリート工学年次論文集 42 (1)	福井慎也, 康田雄太, 川崎佑磨, 福山智子	1702-1707
POROSITY AT EACH DEPTH IN POROUS CONCRETE DUE TO PASTE DRAW-DOWN	共著	2020年8月	Proceedings of ConMat'20	S. S. Aijaz, Y. Shirakawa, T. Yoshida, Y. Kawasaki	533-543
SEISMIC RUBBER BEARING DAMAGE DETECTION USING ELASTIC WAVE PROPAGATION METHOD	共著	2020年9月	Proceedings of 17WCEE 2d-0024	M.Ikuta, K. Izuno, Y. Kawasaki	
EVALUATION OF INITIATION STAGE OF REBAR CORROSION IN RC USING ACOUSTIC EMISSION	共著	2020年10月	Proceedings of ConMat'20	M.M. Seye, Y. Yasuda, S. Fukui, Y. Kawasaki	1913-1923

研究発表等				
発表題名	単独・ 共同の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
コンクリート中鉄筋の腐食診断を目的とした電気化学ノイズと鋼種の相関に関する研究	共同	2020年9月	2020年度日本建築学会大会学術講演会	Ma Jiachen, 金侖美, 福山智子, 福井慎也, 川崎佑磨

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	准教授	河角 直美

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
近代京都における主要商店街の店舗復原—《祇園町》を事例とした方法の検討—	共著	2021年	歴史地理学 63-4	加藤政洋・河角直美	未定
近代京都における近郊遊園地の開発と景観の変遷—八瀬を中心に—	単著	2021年	立命館文学 (672)	河角直美	未定
近代京都における郊外住宅地の開発とその立地特性—御室小松野町を例として—	単著	2020年	立命館文学 (666)	河角直美	201-214

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	神田 孝治

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
万博学：万国博覧会という、世界を把握する方法	分担執筆	2020年8月	思文閣	佐野真由子編（担当：神田孝治「沖縄国際海洋博覧会と沖縄観光」）	387-400

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
『Pokémon GO』のリアルワールドイベントと地域—2018年の横須賀市における事例に注目した考察—	単著	2020年3月	立命館文学—666	神田孝治	131-147

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
The New Mobile Assemblages Caused by Pokémon GO	単独	2020年2月	2nd International Conference of Critical Tourism Studies Asia Pacific	Koji KANDA

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	准教授	金 度源

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
Memory of 2015 Earthquake	共著	2020年1月	Subhash Printing Press	Lata Shakya, Takeyuki Okubo	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
重要伝統的建造物群保存地区における公有建物と私有敷地の防災拠点化に関する調査研究－地域防災資源のデータベース構築と事例調査を通して－	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集、Vol.14	金度源、中林秀光、大窪健之	
歴史的街区に備わる減災手法の防火性能評価～伝統的緑地による延焼抑止効果に着目して～	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集、Vol.14	大窪健之、砂田陸、金度源	
災害情報を即時共有する地域防災情報ネットワークシステムの導入効果に関する検証～京都市先斗町での避難シミュレーションを通して～	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集、Vol.14	山根雅也、大窪健之、金度源	
伝統的な建築構成要素による延焼抑止効果に関する研究～重要伝統的建造物群保存地区の袖壁・うだつに着目して～	共著	2020年7月	日本建築学会近畿支部研究報告書 第60号	竹内基起、大窪健之、金度源	
震災時の在宅避難者への地域支援に関する研究～京都市上京区を対象とした防災拠点としての社寺の活用について～	共著	2020年7月	日本建築学会近畿支部研究報告書 第60号	林原未弥、大窪健之、金度源	
SD法を用いた「先斗町らしさ」の抽出に関する研究－路地空間の外観に対する因子分析を通して－	共著	2020年7月	日本建築学会近畿支部研究報告書 第60号	岡本和将、金度源、大窪健之	
A Study on Distribution Planning for Citizens' Hydrants with the User Experimental Drill of Extra Connectable Hoses in Kiyomizu WCH Zone, Kyoto JAPAN	共著	2020年6月	XVIII International Forum, Le Vie dei Mercanti	Takeyuki OKUBO, Dowon KIM, Tomohiko OWADA, Michiko HAYASHI	
Capacity of World Heritage Temples for Using as Evacuation Places and Shelters against to the Tourism Hazard: A Case Study for Post-Earthquake Response in Kyoto, Japan	共著	2020年10月	ICOMOS GA2020 - 6ISCs Joint Meeting	Dowon Kim, Takeyuki Okubo, Hiroki Shimizu	
歴史的町並みの地区防災データベースの構築	共著	2020年11月	考古学ジャーナル11月号	金度源、中林秀光、大窪健之	

Implementation of Build Back Better (BBB) Framework in Achieving Sustainable Development Goals Case Study: Housing Reconstruction at Duyu Urban Village, Palu City, Central Sulawesi Province	共著	2020年12月	The Journal of Indonesia Sustainable Development Planning	Ayu Erlinna, Djoko Santoso, Abi Suroso, Downon Kim	
---	----	----------	---	--	--

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦可)	発表会議名	発表者名
Capacity of World Heritage Temples for Using as Evacuation Places and Shelters against to the Tourism Hazard: A Case Study for Post-Earthquake Response in Kyoto, Japan	共著	2021年2月	Key note presentation at 3rd Symposium on Seismic Rehabilitation of Urban and Architectural Heritage” by Iranian Research Institute for Cultural Heritage and Tourism, Tehran, Iran	Downon Kim, Takeyuki Okubo, Hiroki Shimizu
都市再生に関する韓日協力とコリアタウンの活性化①都市再生の懸案と課題 - 韓日協力の可能性と期待できる成果	単著	2020年10月	都市再生フォーラム生野コリアタウン、在日韓国領事館招待講演	金度源
観光客等の緊急避難場所としての社寺の能力評価に関する研究～京都市清水・祇園地域を対象として～	共著	2020年7月	歴史都市防災シンポジウム(オンライン)	谷口有里香, 大窪健之, 金度源
災害記憶継承に向けた出版活動 - 2015年ネパール地震を事例として -	共著	2020年7月	歴史都市防災シンポジウム(オンライン)	サキャラタ, 大窪健之, 金度源

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
文化の多様性を考慮した文化財施設の総合防災対策のあり方について - 立命館大学歴史都市防災研究所の取組みの紹介 -	単独	島根県雲南市	2021年2月
A main coordinator of Workshop on “Good Practices for Disaster Risk Management of Cultural Heritage”	単独	歴史都市防災研究所・イクロム	2020年10月
A main coordinator of Webinar Series, Capacity Building for Disaster Risk Management of Cultural Heritage: Challenges and Opportunities in Post-COVID Times	共同	歴史都市防災研究所・イクロム	2020年6月
先斗町防災訓練	単独	先斗町	2020年7月
先斗町鍋屋町防災訓練	単独	先斗町	2020年1月

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	小林 泰三

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
3次元データを活用した新しい締固め管理技術の提案	共著	2020年	地盤工学会、地盤工学会誌、Vol.68, No.12, Ser. No. 755	小林泰三, 土佐信一, 竹添明生, 池永太一, 松浦良信, 高森太郎, 長谷川裕員	pp.15-18
打撃エネルギーを利用したバックホウによる盛土法面締固め技術とその適用	共著	2020年	基礎工、Vol.48, No. 11	安福規之, 石蔵良平, 小林泰三, 谷山 充	pp.92-95
平成30年7月豪雨を誘因として福井県内に発生した斜面崩壊の現地調査－UAVによる空撮と斜面安定解析	共著	2020年	自然災害科学 133, Vol.39, No.1	辻野和彦, 小林泰三	pp.23-34
3次元測量技術を活用した地盤構造の逆解析の高度化に向けた基礎的研究	共著	2020年	地盤工学会関西支部、Kansai Geo-Symposium 論文集	宮原悟, 財津駿平, 松浦敦, 小林泰三	pp.148-153
住民の防災意識および地域防災力の向上のための住民参加型斜面計測・モニタリングシステムの構築－福井市高須町の事例－	共著	2020年	地盤工学会関西支部、Kansai Geo-Symposium 論文集	小山倫史, 近藤誠司, 小林泰三, 芥川真一, 佐藤毅, 中田勝行, 下嶋一幸	pp.245-250

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
OSVを用いた住民参加型の斜面計測・モニタリングシステムの構築とその運用方法の検討－福井市高須町の事例	共著	2020年7月	第55回地盤工学会研究発表会	小山倫史, 近藤誠司, 小林泰三, 芥川真一, 佐藤毅, 中田勝行, 下嶋一幸
自動追尾TSを活用した土の締固め圧縮量計測と品質管理手法の提案	共著	2020年7月	第55回地盤工学会研究発表会	小林泰三, 竹添明生, 池永太一, 松浦良信, 土佐信一, 長谷川裕員, 河西啓次

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
地盤工学会関西支部	令和元年度地盤工学会関西支部「社会貢献賞」	福井市高須町におけるOSVを用いた住民参加型斜面計測・モニタリングシステムの構築	2020年4月

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
政策科学部政策科学科	教授	桜井 政成

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
コミュニティの幸福論：助け合うことの社会学	単著	2020年10月	明石書店	桜井政成	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
兵庫県豊岡市城崎温泉における観光まちづくり取り組みに関する調査結果—地域コミュニティ課題との関連、サステイナブルツーリズムへの視座	単著	2020年3月	地域情報研究：立命館大学地域情報研究所紀要9	桜井政成	94-106

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
青少年の社会貢献意識・政治参加意識へ影響する要因の国際比較	共同	2020年11月	日本NPO学会 第22回年次大会	桜井政成, 加野佑弥

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日		
所属	職名	氏名	
文学部地域研究学域	助教	佐藤 弘隆	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
「京町家（京都市）」（一般社団法人 日本民俗建築学会編『民家を知る旅：日本の民家見どころ案内』）	分担執筆	2020年6月	彰国社	日本民俗建築学会	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
澤木政輝著『祇園の祇園祭』書評	単著	2020年1月	図書新聞（3432）	佐藤弘隆	4
第四代会長・杉本尚次先生の民家研究史を訪ねる	共著	2020年3月	民俗建築70年—1950年—2020年—	河原典史, 堤涼子, 佐藤弘隆	22-25
2019年度 秋の見学会報告丹後の漁村家屋にみる文化的景観	単著	2020年5月	日本民俗建築学会民俗建築（157）	佐藤弘隆	37-42
河内将芳著『室町時代の祇園祭』書評	単著	2020年11月	図書新聞（3472）		

その他研究活動				
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）	
京都の鉄道・バス 写真データベース	共同	web データベース	2016年	
近代京都映像データベース	共同	web データベース	2018年	
歴史文化都市京都の町文書データベース	単独	web データベース	2018年	
祇園祭デジタル・ミュージアム2020 - 祇園祭の過去・未来・現在 -	共同	Web サイト	2020年7月	
長江家住宅研究資源データベース	共同	Web データベース	2020年7月	

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
公益社団法人 都市住宅学会	都市住宅学会業績賞	長江家住宅の継承プロジェクト	2020年10月

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	教授	里深 好文

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
進行性崩壊による天然ダム決壊過程に関する研究	共著	2020年1月	砂防学会誌 72 (5)	高山翔揮, 藤本将光, 里深好文	3-14
異なる Digital Elevation Model を用いたシミュレーションによる土石流の危険度分布の把握と避難計画への活用	共著	2020年3月	砂防学会誌 72 (6)	中谷加奈, 長谷川祐治, 里深好文	8-17
山地河川における河床堆積土砂の移動限界に着目した河床変動計算に関する研究	共著	2020年5月	砂防学会誌 73 (1)	丹羽論, 内田太郎, 里深好文	3-14
ライフサイクルコストを考慮した砂防関係施設の長寿命化計画策定に関する提案	共著	2020年7月	砂防学会誌 73 (2)	原田紹臣, 里深好文, 水山高久	48-54
砂防設備等における除石や延命化を考慮したライフサイクルコスト縮減に関する一考察	共著	2020年9月	第10回土砂災害に関するシンポジウム論文集	原田紹臣, 里深好文, 水山高久	103-108
堆砂条件を考慮した不透過型砂防堰堤の捕捉機能に関する検討	共著	2020年9月	第10回土砂災害に関するシンポジウム論文集	中谷加奈, 麻野佑介, 長谷川祐治, 里深好文	115-120
水路実験による土砂移動時の地盤振動のスペクトルと距離減衰に関する考察	共著	2020年9月	第10回土砂災害に関するシンポジウム論文集	筒井和男, 坂口隆紀, 海原莊一, 谷田佑太, 木下篤彦, 柴田俊, 金澤瑛, 中谷洋明, 里深好文, 藤本将光	133-138
マルチシナリオによる住宅地内の土石流危険度リスクの評価方法の検討	共著	2020年9月	第10回土砂災害に関するシンポジウム論文集	長谷川祐治, 中谷加奈, 青柳昌憲, 海堀正博, 里深好文	193-198
Acquisition of 3D Coordinates of a Landslide Dam Deformation Process by SfM Using Multiple Experimental Videos	共著	2020年10月	Journal of the Asia-Japan Research Institute of Ritsumeikan University 2	Shoki TAKAYAMA, Toshiya NAKAUCHI, Masamitsu FUJIMOTO and Yoshifumi SATOFUKA	45-58
Amplification of flood discharge caused by the cascading failure of landslide dams	共著	2020年11月	International Journal of Sediment Research	Shoki Takayama, Masamitsu Fujimoto & Yoshifumi Satofuka	
天然ダムのすべり破壊により生じる洪水流の規模に関する研究	共著	2020年11月	土木学会論文集 B1(水工学) 76 (2)	高山翔揮, 星山博紀, 藤本将光, 里深好文	I_1183-I_1188

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	武田 史朗

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
まちのようにキャンパスをつくりキャンパスのようにまちをつかう：大学キャンパス再生のデザイン	共編者（共編著者）	2020年1月	日本建築学会	日本建築学会	88-93, 116-118

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
保津川および沿岸地域における流域空間デザインの研究	共著	2020年7月	第14回 歴史都市防災シンポジウム	松田麗央, 武田史朗
大阪府金岡地区における次世代型都市農業拠点の構想	共著	2020年9月	2020年度日本建築学会大会（関東）	毛利友紀野, 武田史朗

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
京都新聞（丹波版）「保津川との共存 半世紀後見つめ 亀岡」	共同	京都新聞	2020年2月22日掲載
川とともに暮らす亀岡2070ワークショップ（主催：流域空間デザイン研究会、後援：亀岡市、かめおか霧の芸術祭実行委員会）	共同	亀岡市（かめおか霧の芸術祭）、 https://kameoka2070.com/	2020年4月～2021年2月

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日		
所属	職名	氏名	
政策科学部政策科学科	准教授	豊田 祐輔	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
「[コミュニティ防災ゲーミング:地震編]でコミュニティ防災を体験しよう!」「ゲームの構造、役割、ルールを考えてゲーミングをつくる!」「コラム 世代を超えるゲーミングのプレイヤー」近藤敦、豊田祐輔、宮脇昇、吉永潤編『大学の学びを変えるゲーミング』	共編者 (共編著者)	2020年1月	晃洋書房	豊田祐輔	40-62, 169-180, 206-207

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
A Framework of Simulation and Gaming for Enhancing Community Resilience against Large-scale Earthquakes: Application for Achievements in Japan	単著	2020年3月	Simulation & Gaming (SAGE) 51 (2)	Toyoda Yusuke	180-211
大学生の地域防災における主体性の形成を目的とした避難協力ゲーミングに関する研究-個人役割の認識に着目して	共著	2020年12月	シミュレーション&ゲーミング(日本シミュレーション&ゲーミング学会) 30 (2)	留野僚也, 豊田祐輔, 鐘ヶ江秀彦	73-83
壮年層に着目した地域防災活動への参加意図に関する研究(報告)	単著	2021年2月	自然災害科学(日本自然災害学会) 39 (4)	豊田祐輔	forthcoming

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
コミュニティ・レジリエンス醸成方策に関するレビュー: コロナ禍社会への示唆 (doi: https://doi.org/10.11487/oukan.2020.0_A-5-3)	単独	2020年10月	第11回横幹連合コンファレンス(オンライン)	豊田祐輔
Simulation & Gaming for community-based disaster management	単独	2020年11月	Webinar Series for the 52nd Annual International Conference of ISAGA	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
日本における地震災害について	単独	第1回防災に関する情報交換会(神田オフィス主催;参加者:関連企業)ココン烏丸	2020年1月～ 2020年1月

防災〇×クイズ	単独	山二地区・吹田市一斉合同防災訓練、吹田市立山田第二小学校、日本、大阪	2020年1月～ 2020年1月
大阪府の地震災害・風水害とマンションでの災害対策	単独	朝日プラザ千里北防災講座（朝日プラザ千里北自治会主催；参加者：住民）朝日プラザ千里北、大阪	2020年2月～ 2020年2月

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
日本環境共生学会	奨励賞	人口流動期における都市部のコミュニティ避難計画に関する研究	2020年9月
日本シミュレーション &ゲーミング学会	優秀賞		2020年12月

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
情報理工学部情報理工学科	教授	仲谷 善雄

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
避難行動を誘発するための災害情報に関するテキスト表現の比較調査	共著	2020年7月	電気学会論文誌C(電子・情報・システム部門誌)140(7)	安井友徳, 北村尊義, 泉朋子, 仲谷善雄	874-882

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Verification of the Effect of Presenting a Virtual Front Vehicle on Controlling Speed	共同	2020年7月	22nd HCI International Conference on Human-Computer Interaction (HCI International 2020)	Tetsuma Konishi, Takayoshi Kitamura, Tomoko Izumi and Yoshio Nakatani
Comparison of Text Representation about Disaster Information to Induce Evacuation	共同	2020年7月	22nd HCI International Conference on Human-Computer Interaction (HCI International 2020)	Tomonori Yasui, Takayoshi Kitamura, Tomoko Izumi and Yoshio Nakatani
Investigation of Information Requirements for Smartwatch-Based Evacuation Support System	共同	2020年7月	22nd HCI International Conference on Human-Computer Interaction (HCI International 2020)	Tomoko Izumi, Fumiya Takarai, Takayoshi Kitamura and Yoshio Nakatani

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間(西暦可)
SDGsと大学組織	単独	電気学会誌、140巻、12号、p.759、随想	2020年12月～ 2020年12月

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月(西暦可)
感性工学会	2020年度出版賞	「不利益-手間をかけるシステムのデザイナー」 (近代科学社)	2020年7月

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	教授	狭間 惠三子

研究発表等				
発表題名	単著・ 共著の別	発行または 発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
文化資源を活かした地域活性化について	単独	2020年7月	商経学会 研究発表	狭間惠三子

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	准教授	花岡 和聖

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
Long-Term Mass Displacements—The Main Demographic Consequence of Nuclear Disasters?	共著	2021	Springer, The Demography of Disasters: Impacts for Population and Place	Karacsonyi, D., Taylor, A. and Bird, D.	15-48

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	平尾 和洋

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
京都市下京区雅学区の事前復興計画に向けた建築物の類型化及びその評価に基づく復興モデルの提案と延焼危険性の分析	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集 vol.14	◎平尾和洋, 田中勇氣	155-162
京都市嵐山地区の事前復興計画に向けた建築物の類型化及び印象評価に基づく浸水被害を想定した復興モデルの提案	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集 vol.14	◎内貴美侑, 平尾和洋	147-154

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
建築設計における問題設定プロセスに関する考察その2―「問題設定」と「問題解決」の関係性について―	共同	2020年5月	日本建築学会近畿支部研究報告集第60号	遠藤直久, 斎藤翔太, 平尾和洋
建築設計における問題設定プロセスに関する考察その1―問題設定のプロセス化―	共同	2020年5月	日本建築学会近畿支部研究報告集第60号	川田泰歩, 斎藤翔太, 遠藤直久, 平尾和洋
詩的イメージを用いたデザイン発想・設計支援ツールの作成とその有効性に関する考察	共同	2020年5月	日本建築学会近畿支部研究報告集第60号	川上樹, 小林稜治, 遠藤直久, 平尾和洋
パリの特別POSにおける都市組織の視点とそのコントロール手法―1996年承認のムフタール地区規制改訂を通して―	単独	2020年5月	日本建築学会近畿支部研究報告集第60号	平尾和洋
京都市下京雅学区の事前復興計画に向けた建築物の類型化及びその評価に基づく復興モデルの提案と延焼危険性の分析	共同	2020年5月	日本建築学会近畿支部研究報告集第60号	古川祥也, 田中勇氣, 遠藤直久, 平尾和洋
京都市嵐山地区の事前復興計画に向けた建築物の類型化及び印象評価に基づく浸水被害を想定した復興モデルの提案	共同	2020年5月	日本建築学会近畿支部研究報告集第60号	中村魁, 内貴美侑, 遠藤直久, 平尾和洋
詩的イメージを用いたデザイン発想・設計支援ツールの作成とその有効性に関する考察	共同	2020年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	田辺勇樹, 小林稜治, 遠藤直久, 平尾和洋
建築設計における問題設定プロセスに関する考察	共同	2020年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	川田泰歩, 斎藤翔太, 遠藤直久, 平尾和洋
京都市下京雅学区の事前復興計画に向けた建築物の類型化及びその評価に基づく復興モデルの提案と延焼危険性の分析	共同	2020年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	古川祥也, 田中勇氣, 遠藤直久, 平尾和洋
京都市嵐山地区の事前復興計画に向けた建築物の類型化及び印象評価に基づく浸水被害を想定した復興モデルの提案	共同	2020年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	田崎幹大, 内貴美侑, 遠藤直久, 平尾和洋

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部	特命教授	深川 良一

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
Inhibitory effect of ground improvement on the subsidence of the leaning pagoda	共著	2021年(掲載決定)	International Journal of Geomate	ISHIDA Yuko, ITO Hajime, FUKAGAWA Ryoichi	8頁
テンシオメータの計測結果を加味した雨量指標による計測斜面での斜面崩壊予測精度の向上に関する研究	共著	2021年(掲載決定)	土木学会論文集	檀上徹, 酒匂一成, 藤本将光, 石澤友浩, 伊藤真一, 深川良一	16頁
アユタヤのレンガ造仏塔の保全に関する研究	共著	2021年2月	月刊考古学ジャーナル・アカデミックレポート、No.750	石田優子, 伊藤肇, 深川良一	pp.32-33
傾斜計を用いた重要文化財後背斜面における斜面変位事例	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集、VOL.14	檀上徹, 藤本将光, 石澤友浩, 深川良一, 里深好文	
斜面崩壊の発生を予測する－世界文化遺産を守る－	共著	2020年2月	砂防学会編「観測の現場を訪ねて」	藤本将光, 檀上徹, 平岡伸隆, 酒匂一成, 深川良一	pp.421-428
Experimental study on the prevention of soil outflow from the ground around bridge abutment using cement soil stabilization	共著	2020年	International Journal of GEOMATE, Vol.19, Issue 71	ISHIDA Yuko, TAKAYAMA Shoki, IZUNO Kazuyuki, SATOFUKA Yoshifumi, KOBAYASHI Taizo and FUKAGAWA Ryoichi	pp.1-8

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
弾性体を利用した孔内載荷試験装置						日本

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	准教授	福山 智子

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
粉体の拘束水比に基づくカーボンナノチューブ混和セメントペーストの流動性の評価		2020年	AIJ 大会学術講演梗概集	福山智子 (3名省略, 1番)	
熱膨張係数を考慮した断面修復コンクリートの修復界面のひずみ変化に関する実験的研究		2020年	AIJ 大会学術講演梗概集	福山智子 (3名省略, 2番)	
断面修復コンクリートの修復界面の形態と熱挙動の関係		2020年	AIJ 大会学術講演梗概集	福山智子 (3名省略, 4番)	
断面修復コンクリートの修復界面の形態と熱応力の関係		2020年	AIJ 大会近畿支部研究発表会	福山智子 (3名省略, 4番)	
Experimental Study on the Thermal Behavior of Patched Concrete considering Coefficient of Thermal Expansion		2020年	大韓建築学会学術発表会	福山智子 (3名省略, 2番)	
断面修復コンクリートの修復界面の形態と熱的挙動の関係		2020年	歴史都市防災論文集	福山智子 (3名省略, 4番)	
セメント系材料へのカーボンナノチューブ分散に関する検討		2020年	コンクリート工学年次論文集 42 (1)	福山智子 (3名省略, 1番)	1876-1881

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	助教	藤井 健史

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
GPGPUを用いた交差判定式全方位可視率計算の超高速化－緑視率計算と植栽計画指標検討への応用－	共著	2020年	日本建築学会技術報告集63	藤井健史, 山田悟史	802-807
石垣の見え方が丸亀城景観の印象評価に与える影響に関する研究	共著	2020年	歴史都市防災論文集vol.14	藤井健史, 寺口絢子	209-214
GPGPUを用いた超高速緑視率計算手法の開発と植栽計画指標検討への応用	共著	2020年	日本建築学会大会学術講演梗概集【選抜梗概】	藤井健史, 山田悟史	

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間 (西暦可)
南笠東学区まち歩きガイドマップ・標識等調査・企画	単独	草津市南笠東学区自治連合会受託事業	2020年度
「草津の魅力」を再発見！～草津市内に点在する歴史資産を繋ぐ保存・活用手法の提案～	単独	大学地域連携課題解決支援事業（環びわ湖大学・地域コンソーシアム）	2019-2020年度
街道の補助線－歴史資産を繋ぎ、街道を顕在化させるアートワークとしての路面標示の実施－	単独	UDCBK 社会実験準備事業等委託事業（滋賀県草津市）	2020年度

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部環境都市工学科	准教授	藤本 将光

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
土砂災害の発生を予測するために観測する－総説－	単著	2020年3月	公益社団法人砂防学会	藤本将光	96-98
斜面崩壊の発生を予測する－文化遺産を守る－	共著	2020年3月	公益社団法人砂防学会	藤本将光, 檀上徹, 平岡信隆, 酒匂一成, 深川良一	117-124

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
京都府綾部市安国寺測線①をモデル斜面とした動態観測手法の現状報告	共著	2020年11月	Kansai Geo-Symposium 2020 論文集	小泉圭吾, 鈴木瑞生, 古川貴一, 小田和広, 伊藤真一, 藤本将光, 矢野晴彦, 鏡原聖史, 笹原克夫	6-6
綾部市安国寺裏斜面における雨水浸透と地下水位の挙動に関するモニタリング結果の考察	共著	2020年11月	Kansai Geo-Symposium 2020 論文集	中森祐輔, 小田和広, 矢野晴彦, 小泉圭吾, 伊藤真一, 藤本将光, 鏡原聖史, 笹原克夫	6-7
AIを活用した道路防災点検における危険度評価システムの提案	共著	2020年11月	第1回 AI・データサイエンスシンポジウム 論文集	原田紹臣, 藤本将光, 酒匂一成, 水山高久, 松井 保	414-420

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
進行性崩壊による天然ダム決壊過程に関する現地実験と数値シミュレーション	共著	2020年7月	2020年度砂防学会研究発表大会	高山翔揮, 藤本将光, 里深好文
滋賀県大津市荒川地区における治水対策に関する研究	共著	2020年7月	2020年度砂防学会研究発表大会	井上雄登, 高山翔揮, 藤本将光, 里深好文
一溪流に連続する2つの天然ダムの決壊に伴う洪水流出過程に関する研究	共著	2020年7月	2020年度砂防学会研究発表大会	高山翔揮, 藤本将光, 里深好文
天然ダム進行性崩壊に関する現地実験	共著	2020年7月	2020年度砂防学会研究発表大会	中内聡哉, 高山翔揮, 藤本将光, 里深好文
沖縄県漢那ダムにおける魚道の生態系保全機能の効果検証	共著	2020年7月	2020年度砂防学会研究発表大会	糸数哲, 藤本将光, 西村萌, 菖蒲香月, 里深好文
既設砂防堰堤の腹付け改築補強における袖部嵌入に関する施工性向上の提案	共著	2020年7月	2020年度砂防学会研究発表大会	藤本将光, 原田紹臣, 水山高久, 小西成治, 疋田信晴, 吉永憲次

斜面崩壊に伴う土砂移動を想定した室内振動実験 - 高感度地震観測網における大規模土砂移動時の地盤振動特性の再現 -	共著	2020年7月	2020年度砂防学会研究発表大会	竹田海渡, 谷田佑太, 海原莊一, 福島康宏, 木下篤彦, 柴田俊, 山田拓, 小竹利明, 金澤瑛, 中谷洋明, 藤本将光, 里深好文
細粒土砂流出防止構造を併用させた急傾斜地崩壊防止施設に関する研究	共著	2020年7月	2020年度砂防学会研究発表大会	原田紹臣, 山本和輝, 高瀬蔵, 藤本将光, 高森潔, 河野和人, 幸田英司, 水山高久
地震動が斜面の安定性および降雨浸透特性に与える影響	共著	2020年7月	2020年度砂防学会研究発表大会	川島直人, Qin xin, 藤本将光, 里深好文
降雨時の斜面崩壊における地下水及び変形挙動に関する実験的検討	共著	2020年7月	2020年度砂防学会研究発表大会	Qin xin, 藤本将光, 里深好文
E.P. ルートパイル工法の高度化に関する実験的研究	共著	2020年7月	2020年度砂防学会研究発表大会	高瀬蔵, 山本和輝, 藤本将光, 原田紹臣, 里深好文, 菖蒲香月, 梨本英, 小西成治, 疋田信晴, 吉永憲次

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録(特許)番号	国
透水試験装置および透水試験方法	本学共同者		2013-193946			日本
土壌水量を用いた斜面崩壊危険度の簡易判定手法	本学共同者		2015-102216			日本

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日		
所属	職名	氏名	
理工学部建築都市デザイン学科	教授	宗本 晋作	

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
A RELATIONSHIP BETWEEN ARCHITECTURE AND PEOPLE	共著	2020年11月	Architecture & Culture 474	Shinsaku Munemoto +SMA	pp.62-107

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	編者・著者名	該当頁数
勾配を取り入れた街路ネットワークの中心性の研究－神戸における歩行経路を対象として－	共著	2020年10月	日本建築学会計画系論文集 第85巻 第776号	北本英里子, 山田悟史, 宗本晋作, 及川清昭	pp.2267-2276

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
SUGINOKO PLAYGROUND	単著	2020年11月	2020 BUGAIK International Architecture Exhibition	Shinsaku Munemoto
Deep Learning を用いた街並み画像に対する平均訪問意欲推定 AI の作成と検証	共著	2020年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集 2020, A-2 分冊, p.119	大野耕太郎, 山田悟史, 宗本晋作, 細浪哲也

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
Stitching the national borders（最終40選）	共同	INTERNATIONAL ARCHITECTURAL IDEAS AND PROJECT COMPETITION FOR THE URBAN DEVELOPMENT OF »PIAZZA TRANSALPINA / TRG EUROPE	2020年8月

受賞学術賞			
授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月（西暦可）
公益財団法人日本デザイン振興会	GOOD DESIGN AWARD 2020	杉の子プレイグラウンド	2020年10月
韓国建築家協会	大韓民国慶尚北道建築大展招待作家賞（最優秀）受賞	SHOP HOUSE	2020年10月

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	准教授	村中 亮夫

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
安全安心マップ作成を通じた小学生親子の防災力向上と課題—第13回みんなで作る地域の安全安心マップコンテスト関連事業報告—	共著	2020年3月	京都歴史災害研究(21号)	石田優子, 酒井宏平, 村中亮夫	31-41

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
自助・共助のための防災マップ作成の取り組み—北海道石狩市における水害・土砂災害の事例—	共同	2020年10月	立命館大学歴史都市防災研究所 2020年度第4回定例研究会	村中亮夫, 浅妻裕, 谷端郷, 米島万有子, 高橋伸幸

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	持田 泰秀

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
STUDY ON THE EFFECT OF BAKING SODA ON BLEEDING AND COMPRESSIVE STRENGTH OF CEMENT MILK	共著	2020年9月	International Journal of GEOMATE 19 (73)	Yasuhide Mochida, Ogunbiyi Joshua Olabamiji, Kouhei Kasahara	64-69

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
プレキャストコンクリートの表層性能に関する研究（材齢を通した在来工法のコンクリートとの比較）	共同	2020年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	胡邵博、持田泰秀、坂田博史
軽量な新材料を活用した施工について—CFRTPを活用した耐震補強の事例を通して—	単独	2020年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	持田泰秀
添加剤の種類によるブリージング量の違いに関する実験的研究	共同	2020年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	笠原浩平、持田泰秀、角田和明
再生改良土を用いた地盤改良杭工法に関する研究	共同	2020年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	角田和明、持田泰秀、笠原浩平、松本洋
地盤の塑性化を考慮した浮上り基礎の非線形回転角推定法に関する研究	共同	2020年9月	日本建築学会大会学術講演梗概集	持田泰秀、峯本真、世古泰朗
STUDY ON THE EFFECTIVENESS OF A BUILDING STRUCTURE	共同	2020年11月	The 10th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment, Melbourne	Kouhei Kasahara, Yasuhide Mochida
STUDY ON ROTATION ANGLE ESTIMATION METHOD OF UPLIFT FOUNDATION CONSIDERING PLASTICITY REGION	共同	2020年11月	The 10th International Conference on Geotechnique, Construction Materials and Environment, Melbourne	Makoto Minemoto, Yasuhide Mochida

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
海洋型施設の維持管理計画（愛知県M市）の立案	共同		2020年4月

知的財産権						
名称	出願人区分	発明人区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
水硬性固化材液、水硬性固化材液の調整方法、及び、置換柱体の築造方法	本学以外	その他	特願 2019-229318			日本

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	教授	矢野 桂司

著書					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
あいまいな時空間情報をもつ古地図の検索と活用	分担執筆	2020年12月	古今書院、浅見泰司・薄井宏行編『あいまいな時空間情報の分析』	矢野桂司	

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
ジオコーディングのための京都市の住所表記に関する現状と課題	単著	2020年3月	立命館文学666	矢野桂司	30-44
京都市一人暮らし高齢者全戸訪問事業に基づく福祉GIS活用の試み—地域福祉デジタル情報化課題の一考察—(上)	共著	2020年6月	立命館産業社会論集56(1)		109-129
都市を鳥瞰する—一居住者特性を可視化する	単著	2020年8月	建築と社会101(1182)		14-15
人文学における地理空間情報の可視化—地図を重ね合わせて見る	単著	2020年9月	シミュレーション39(3)	矢野桂司	1-6
京都市一人暮らし高齢者全戸訪問事業に基づく福祉GIS活用の試み—地域福祉デジタル情報化課題の一考察—(下)	共著	2020年9月	立命館産業社会論集56(2)	小澤巨, 矢野桂司, 中谷友樹, 加藤博史	1-19
「祇園祭デジタル・ミュージアム2020」の構築・公開について	共著	2021年1月	E-journal GEO		
2010年代末における京都市の宿泊施設GISデータベースの構築とその活用	単著	2021年3月	立命館文学		

研究発表等				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
The Integrated Portal Site of Japanese Old Maps for Historical GIS: Using the Mitsui Collection Held by the C. V. Starr East Asian Library, University of California, Berkeley	単独	2020年2月	New Frontiers in Digital Humanities for Japanese Culture and Arts: Activities of Art Research Center, Ritsumeikan University as International Joint Digital Archiving Center for Japanese Art and Culture (ARC-iJAC)	Keiji Yano
Extending Virtual Kyoto	単独	2020年3月	Centre for Japanese Studies, University of East Anglia	Keiji Yano
京都地籍図データベースを用いた明治末期土地所有者のクラスター分析	共同	2020年10月	第29回学術研究発表大会	青木和人・矢野桂司

日本版 WorldMap の構築と日本版 MapWarper との連携：日本の古地図研究への活用を事例として	共同	2020年10月	第29回学術研究発表大会	今村聡・鎌田遼・矢野桂司
Historical LULC Change of Pre-modern Alexandria (1517-1801 CE): Geospatial analysis for Napoleonic map (1801 CE)	共同	2020年10月	第29回学術研究発表大会	Soliman Mohamed・Yano Keiji・Usami Tomoyuki・Imamura Satoshi
あいまいな時空間情報をもつ古地図の検索と活用	共同	2020年10月	第29回学術研究発表大会 企画セッション：あいまいな時空間情報を分析するためのツールの開発とその応用「あいまいな時空間情報の分析」出版記念シンポジウム（企画：浅見 泰司）	矢野桂司，鎌田遼，今村聡
アレクサンドリアの都市文化遺産のための持続可能なジオデザイン：真正性と近代化、エジプト	共同	2020年11月	日本地理学会秋季学術大会	Mohamed SOLIMAN, Tomoyuki USAMI, Satoshi IMAMURA, Keiji YANO, Hrishikesh BALLAL

講師・講演				
発表題名	単独・共同の別	発行または発表の年月（西暦可）	発表会議名	発表者名
京都の時空間を俯瞰するーバーチャル京都の活用	単独	2020年10月	立命館オンラインセミナー	矢野桂司

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	講師	山田 悟史

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
Deep Learningを用いたデザイン AI の作成と検証－街並みと建築物外観の画像生成を対象に－	共著	2020年4月	日本建築学会計画系論文集 85 (770)	山田悟史, 大野耕太郎	987-995
GPGPUを用いた交差判定式全方位可視率計算の超高速化－緑視率計算と植栽計画指標検討への応用－	共著	2020年 6月20日	日本建築学会技術報告集 26 (63)	藤井健史, 山田悟史	802-807
勾配を取り入れた街路ネットワークの中心性の研究－神戸における歩行経路を対象として－画像生成を対象に－	共著	2020年10月	日本建築学会計画系論文集 85 (776)	北本英里子, 山田悟史, 宗本晋作, 及川清昭	2267-2276

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
文学部地域研究学域	准教授	山本 理佳

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
旧軍港市転換法の運用実態に関する一考察	単著	2020年3月	立命館文学（立命館大学人文学会）(666)	山本理佳	1338-1324

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Changes to Tourism Space in Hiroshima Prefecture brought about by the establishment of the Yamato Museum	単独	2020年2月	2nd International Conference of Critical Tourism Studies Asia Pacific	Rika YAMAMOTO

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
理工学部建築都市デザイン学科	教授	吉富 信太

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
Model-free identification of hysteretic restoring-force characteristic of multi-plane and multi-story frame model with in-plane flexible floor		2020年	Frontiers in Built Environment (Specialty Section: Earthquake Engineering) 6 (48)	Kenichirou Shintani, Shinta Yoshitomi and Izuru Takewaki	

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	准教授	SHAKYA Lata

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
子ども向けアンケート調査を容易にする フリップカード(査読付き)	共著	2020年2月	デザイン学研究作品集 25巻1号	丹羽由佳理, 横田樹広, 富 川駿, 森龍, Lata SHAKYA	p.1_70- 1_75
Transition of post-disaster housing of rural households: A case study of the 2015 Gorkha earthquake in Nepal (査読 付き)	共著	2020年4月	International Journal of Disaster Risk Reduction 44	Hitomu Kotani, Riki Honda, Saori Imoto, Lata Shakya, Bijay a Krishna Shrestha	(2020) 101443), pp.1-14
災害記憶継承に向けた出版活動－2015 年ネパール地震を事例として	共著	2020年7月	歴史都市防災論文集 Vol. 14	サキヤ ラタ, 大窪健之, 金度源	265-270 頁
カトマンズ盆地内歴史的集落保全にお ける法的枠組み 2015ネパール地震後の 世界遺産暫定リスト・コカナにおける被災 状況調査報告 その13	共著	2020年9月	日本建築学会全国大会 (関東)梗概集(日本 建築学会)	Lata Shakya, 森朋子, 浅 田なつみ	957-958 頁
カトマンズ盆地内歴史的集落にお ける建築条例 2015ネパール地震後の 世界遺産暫定リスト・コカナにおける被災 状況調査報告その14	共著	2020年9月	日本建築学会全国大会 (関東)梗概集(日本 建築学会)	森朋子, Lata Shakya, 浅 田なつみ	955-956 頁
立命館大学歴史都市防災研究所ウェ ビナーシリーズ「文化遺産防災にお ける人材育成:ポストコロナの挑戦と創生」 の開催報告	共著	2020年9月	日本イコモス国内委員 会 ICOMOS Japan Information (2020 No.6)	大窪健之, 金度源, サキヤ ラタ	19
THE MEMORY OF DISASTER, AND COMMUNITY-BASED DISASTER MITIGATION RESEARCH ACTIVITIES TOWARDS A SHARED RESPONSIBILITY	共著	2020年10月	2020 ICOMOS 6 ISCs Joint Meeting Proceedings (ICOMOS International)	Lata Shakya, Takeyuki Okubo, Dowon Kim	203-215

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
Post-disaster response and recovery by the local community in historic settlements of Nepal	単独	2020年8月	Online Seminar Series, Topic: “Community-based Planning and Disaster Risk Reduction (DRR) Nexus in Urban Areas”	Lata Shakya
THE MEMORY OF DISASTER, AND COMMUNITY-BASED DISASTER MITIGATION RESEARCH ACTIVITIES TOWARDS A SHARED RESPONSIBILITY	共同	2020年10月	2020 ICOMOS 6 ISCs Joint Meeting	Lata Shakya, Takeyuki Okubo, Dowon Kim
災害記憶継承に向けた出版活動－2015 年ネパール地震を事例として	共同	2020年12月	第14回歴史都市防災シンポジ ウム	サキヤ ラタ, 大窪健之, 金 度源

その他研究活動			
研究業績名	単独・共同の別	発表場所等	研究期間（西暦可）
The Third Mayors' Forum on Conservation of Historic Settlements in Kathmandu and Kavre Valleys on Jan 5, 2020	モデレーター： 単独通訳：共同	Kirtipur, Nepal（パネルディスカッションのモデレーター、同時通訳者）	2020年1月～ 2020年1月
The Sixth Engineers Workshop for the fourth Mayors Forum in Sankharapur Municipality	モデレーター： 共同通訳：単独	Kirtipur, Nepal（主旨説明、モデレーター、通訳者）	2020年3月～ 2020年3月

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
衣笠総合研究機構	専門研究員	大橋 弘明

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌 (及び巻・号数) 等の名称	編者・著者名	該当頁数
Suburban (mis) fortunes: outer suburban shrinkage in Tokyo Metropolis	共著	2021年1月	Urban Studies, https://doi.org/10.1177/0042098020975706 .	Hiroaki Ohashi, Nicholas A. Phelps	Online First
Diversity in decline: The changing suburban fortunes of Tokyo Metropolis	共著	2020年8月	Cities, 103, https://doi.org/10.1016/j.cities.2020.102693 .	Ohashi Hiroaki, Nicholas A. Phelps	Online First
Edge city denied? The rise and fall of Tokyo's outer suburban "Business Core Cities"	共著	2020年12月	Journal of Planning Education and Research, 40 (4)	Nicholas A. Phelps, Hiroaki Ohashi	379-392

研究発表等				
発表題名	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発表会議名	発表者名
都市縮小期を迎えた歴史都市・京都におけるNPO活動に関する考察	単独	2020年10月	立命館大学歴史都市防災研究所 2020年度第4回定例研究会	

研究業績書

対象期間	2020年1月1日～2021年3月31日	
所属	職名	氏名
OIC 総合研究機構	専門研究員	酒井 宏平

論文					
著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月 (西暦可)	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名	該当頁数
安全安心マップ作成を通じた小学生親子の防災力向上と課題：第13回みんなでつくる地域の安全安心マップコンテスト関連事業報告	共著	2020年3月	京都歴史災害研究 21	石田優子、酒井宏平、村中亮夫	31-41